

中国と日本を結ぶ季刊誌

かけはし

季刊 2017年夏号
2017年7月20日発行(第2巻第2号)

ジャズが北京に鳴り響く

——中日つなぐ日本人ミュージシャンたち

あなたの知らない
パンダあれこれ

視聴率80%超え?!大ヒットドラマ
『人民的名义』に見る中国社会

CRJ
中国国际广播电台
CHINA RADIO INTERNATIONAL

CIBN
中国国际广播电视网络台
CHINA INTERNATIONAL BROADCASTING NETWORK

かけはし

季刊 2017年夏号
2017年7月20日発行(第2巻第2号)

目次

お便り募集のお知らせ

「かけはし」では読者の皆様の投稿を受け付けております。番組や冊子の感想のほか、中国旅行の思い出、エピソードなどをお便り・Eメールでお寄せください。

あて先

E-mail: riyubusns@126.com

郵便(中国): 100040 中国国際放送局日本語部「かけはし」編集部

01 中国国際放送局(CRI)日本語部
2017年上半期の歩み

02 中日国交正常化45年の歩み——あの日、その時
中国で愛されるスイカ「京欣一号」
森田欣一の置き土産 ……王小燕

04 ジャズが北京に鳴り響く ……梅田謙・星和明
～中日つなぐ日本人ミュージシャンたち～

06 北京暮らし
北京の町巡り「双井」 ……劉叡琳

07 世界無形文化遺産めぐり
福建省の操り人形劇 ……任春生

08 百家姓物語 「雷」 ……張怡康

09 日本で実践!中国語 ……張怡康・梅田謙
富士山についての会話

10 あなたの知らない
パンダあれこれ ……周莉

11 56の民族、56輪の花 ナシ族 ……孟群

12 空海を追いかけて
日本人書道家・小林芙蓉 密教の発祥地を訪問

13 「和して同ぜず」東北アジア書画展2017
……文化交流実行委員会

14 映像番組『北京の表情』
～北京で暮らす日本人～

16 話 はなし 噺 HANASHI ……李順然
真夏の昼の物語

18 新語で知る中国事情 ……謝東
キーワードチャイナ

20 イチオシ中国映画・中国音楽 ……関亦水
映画編:我心雀躍など 音楽編:獵戸星座/朴樹など

22 観察眼INSIGHT ……向田和弘
視聴率80%超え?!空前の大ヒット作
『人民の名義(人民の名の下に)』に見る中国社会

26 CRIインタビュー
ハンセン病で結ばれた絆でアジアを楽しく、魅力的にする
原田燎太郎さんとJIAの取り組み ……王小燕

27 中日交流カフェ ……高橋恵子
工学院大学孔子学院より

28 リスナーからのお便り
編集後記



表紙の写真

夏、北海公園のハス。北京の夏の風物詩といえばハスの花。「泥より出づるも濁りに染まらず」、その芯の強さに人は魅かれるのだろう。

(撮影:劉叡)

「かけはし」編集委員会

発行人 王丹丹

編集人 趙雲莎 藍曉芹

編集 梅田謙

潘 圓

王 帥

かけはし編集部

中国北京市石景山区石景山路甲16号

中国国際放送局日本語部内

電話 +86 10 6889 1272

E-mail riyubu@cri.com.cn

URL japanese.cri.cn

中国国際放送局(CRI)日本語部 2017年上半期の歩み (1月~6月)

■1月7日 年間企画「国交正常化45年の歩み——あの日、その時」放送開始(毎週土曜日)



■1月25日 「CRI紅白歌比べ」40周年記念特別企画「中日歌唱コンテスト」ラジオ投票の結果発表
▶ 紅1875票、白1821票、引き分け112票で紅組が勝利



■2月24日 春恒例の「さくらリポーター」募集開始

▶ 中国・日本をはじめ、各地から100通を超える桜の写真が集まる



■3月5日 第12期全国人民代表大会が開幕

▶ 李克強首相の政府活動報告をCRI日本語放送が文字で生中継
▶ 李陽記者が全人代を現場取材(~15日まで)



■3月25日 CRI前庭の桜が満開

▶ 「長野県北京放送を聞く会」と「長野県中国語を学ぶ会」が1996年に寄贈

■3月31日 CRI公式アプリ「China News」「China Radio」「China TV」配信開始

■4月5日 ハイウェイ北京水曜の「中日交流カフェ」コーナーがリニューアル(担当:王洋、梅田 謙)

■4月6日 ハイウェイ北京木曜で新コーナー「中国暦」、「56の民族、56の花」がスタート(担当:孟群、星 和明)

■4月8日 2017年度大中物産杯日本語弁論大会が開催

▶ CRI日本語放送が後援、北京市・中国伝媒大学にて
▶ 王小燕アナが審査員、劉叢アナが司会として参加



■4月15日 「一帯一路」国際協力サミット開幕

▶ 習近平国家主席の基調講演をCRI日本語放送が文字で生中継



■4月19日~24日 「『和して同ぜず』東北アジア書画展2017東京」開催

■4月20日 『かけはし2017年春号』発行、CRI日本語公式サイトで電子版を同時配信

■4月23日~29日 「『陝西省の発展と未来』—2017CRI外国人記者 陝西省取材の旅」

▶ 梅田 謙記者と張強記者が参加



■5月24日 山根敏郎団長(89歳)率いる長野県日中友好協会訪中団一行13名がCRIを訪問

■5月27日 第8回全国高校生日本語スピーチコンテストが開催 CRI日本語放送が後援

▶ 北京市・世紀劇院国際会議ホールにて 高橋恵子アナが審査員として参加

■5月31日 高橋恵子アナが退職し本帰国(2011年5月~2017年5月まで在籍)

▶ 現在は工学院大学孔子学院院长



■6月25日~7月2日 新農村建設を取材する映像企画「CRI中国農村の旅」に

張怡康アナと李陽記者が参加

▶ 河南省信陽市の里羅城村、郝堂村などでドキュメンタリーを撮影

■2月~6月 レギュラー番組「CRIインタビュー」、日本国自治体国際化協会(CLAIR)との共同企画で

新潟県、山梨県、徳島県、横浜市の職員を取材

同時に、大学生向け「オープンスタジオ」を実施(聞き手:王小燕)



中日国交正常化45年の歩み——あの日、その時

第二回

中国で愛されるスイカ「京欣一号」 森田欣一の置き土産

■王小燕

今年もスイカの季節を迎えました。北京を含む中国北部で最も早く栽培され、最も多く出荷されるスイカが、「京欣一号」です。果皮が薄く、しっかりとした果肉で、糖度が高い。収穫までの期間が短い上に、単位当たりの収穫量が多く、消費者からも農家からも好まれています。

「京欣一号」は、1987年に北京市農林科学院野菜研究センターと日本人農業技術者・森田欣一氏の協力によって開発されたものです。品種名には「北京の繁栄を祈る」という意味のほかに、持てるだけの技術を伝授してくれた森田欣一氏の功績を称え、感謝する気持ちも込められています。

この記事は、CRI日本向けラジオで2017年1月から毎週土曜日放送の「中日国交正常化45年の歩み——あの日、その時」の抜粋です。

■森田欣一(もりた きんいち、1916-2008)

スイカとメロンの研究者。

1916年5月千葉県生まれ。1939年に東京農業大学農学部教育科を卒業。種苗商会などでの花卉や野菜関連の育種業務を経て、1944年千葉県「みかど株式会社」の育種担当に。のちに会長、最高顧問となる。

1978年には、国内外から高く評価された「エリザベス・メロン」の育種に成功。

主な著書に『スイカ 作型とつくり方』（農山漁村文化協会）、『すいか フレーベルの科学えほん』など多数。



時は1980年代初めに遡る。当時の中国は、78年にスタートした改革開放の成果が表れ、食糧生産に大きな伸びが見られた。衣食に困らなくなると果物へのニーズが高まり、スイカやメロンは生産を勢いよく伸ばすが、一方で、品種の退化、収穫量の減少、供給期間の短さなどの問題に悩まされてもいた。

こうした課題を乗り越え、おいしいスイカやメロンが市場に届き、農家もメリットを得られること。それが農業当局の悲願だった。

■中国思いの育種専門家

1984年、北京市農林科学院野菜研究センターが国連開発計画(UNDP)の委託を受け、野菜栽培育種国際研修班を設置した。国連顧問として北京入りした森田欣一氏は、1979年から視察や技術指導で中国を度々訪れており、その広い学識と豊富な経験、謙虚な人柄で高い評価を得ていた。

翌1985年、中国農業省科学技術局は森

田氏を迎えて、スイカ・メロン新品種の選抜育種と栽培技術の協力研究を始める。北京、鄭州、江蘇の3か所の試験場をベースに、新品種の開発がスタートした。

交雑育種に必要な種は、森田氏が日本から調達。当時の中国に今ほどの経済力はなく、外貨準備も豊富ではなかった(1985年時点の「一人当たりGDP」と「世界ランキング」は、中国が291ドルで第122位、対して、日本は1万1464ドルで世界14位)。これに配慮してか、森田氏は古巣の「みかど育苗農場」から種を購入する際、市場価格の15~20%で納入されるようにし、他の育苗農場から調達する場合でも、相場の3分の1の値段で購入できるようにやりくりした。このほか、生産資材や試験用計器類なども、中国の現場の事情を調査した上で、吟味してセレクトした。

当時の中国側スタッフは、「森田さんは毎日早朝に起き、試験畑に一番乗りして、夕方は誰よりも遅くまで残っていました。そして毎週のように農村部に赴いて、農家

の方の手を取って指導し、技術と経験を私心なく伝授してくれました」と回想している。



北京の野菜市場に並ぶスイカ、今でも京欣一号が早熟品種の主役

■「スイカ祭り」の立役者

北京南郊外の「スイカの里」大興県(現・大興区)龐各庄は「京欣一号」誕生の地だ。交配用の父本と母本が、地元農家・邵連発さんが所有する畑で最初に植えられた。森田氏は蔓の手入れ方法などについて、日本の栽培技術を指導しながらも、地元が一番適した方法を邵さんと一緒になって模索した。一回目の試験が見事成功し、試験栽培した畑1ムー(6.67アール)で採れた種5キロが、地元農家に全て買われていった。選抜育種の結果を速めるべく、森田氏は中国と日本の間を行き来し、みかど育苗農場でも同様の交配試験を併行して実施していた。

このように、3年間にわたって試験を続けた結果、1987年にとうとう新品種の育成に成功した。その品種名は森田欣一氏の名前をとって「京欣一号」と名付けられた。通常10年かかる育種と普及期間がわずか3年にまで短縮できたとされている。

「京欣一号」はその優れた品質と収穫量の多さで華北地区、そして全国に広まり、一時是北京一帯のスイカ作付面積の6割以上を占めて、早熟品種の王者となった。

その育種過程の舞台となった龐各庄には、それまで数百年にわたるスイカ栽培の歴史があったが、品種の退化に悩んでいた。「京欣一号」の育成により息を吹き返したこの村は、1988年に第1回スイカ祭りを開催した。この祭りは現在も毎年開催されており、龐各庄を擁する大興区も「スイカの里」として不動の地位を保っている。

■心の中で永遠に

森田氏の功績は中国で高く評価され、1991年に農業省から「中国農業金賞」、1992年に国家外国人専門家局から「国際協力友誼賞」、1993年には北京市大興県から「大興県名誉県民」がそれぞれ授与された。さらに1998年、江沢民国家主席が日本を公式訪問した際には、中日友好に傑出した貢献をした功労者として表彰されている。

千葉にある森田邸を訪ねた中国側関係者の回顧録によると、森田氏にはずっと手元に大切にとどめていた品があるという。

それは本帰国する前に、野菜研究センターから贈呈された手編みのじゅうたんと中国から授与された各種賞状だった。客人を招く際には、必ずこれらの品を取り出して、その由来を紹介していたそうだ。

2008年3月10日、森田欣一氏は千葉で逝去した。享年91歳だった。亡くなる直前まで、「北京オリンピックが終わったら、古き友人に会いに中国へ行きたい。死後は中国に骨をうずめたい」とつぶやいていたと、家族は語っている。

訃報を受け、中国スイカ・メロン専門委員会と国家野菜エンジニアリング技術センターは次のようなお悔やみの言葉を出した。

「我々の、古き日本の友人の訃報に接し、この上ない悲しい気持ちに包まれました。我々が森田先生のプロ意識に学び、仕事に励み、より多く、より良いスイカとメロンを育成していくことが、先生への何よりの供養になるかと存じます。森田欣一先生は、中国人民の心の中で永遠に生き続けます」

なお、農業技術協力で中国を支援した日本人は、水稻専門家の藤原長作(ふじわら ちょうさく)氏、原正市(はら しょういち)氏、マルチ栽培法を紹介した石本正一(いしもと しょういち)氏らの名も中日交流史に書き記されている。



森田氏が育種したエリザベス・メロンも中国に伝えられた

森田欣一先生、1917年3月10日出生于日本静冈县。1939年毕业于日本农业大学农学部农艺科。1941年毕业于日本农业大学农学部农艺科。1943年毕业于日本农业大学农学部农艺科。1945年毕业于日本农业大学农学部农艺科。1947年毕业于日本农业大学农学部农艺科。1949年毕业于日本农业大学农学部农艺科。1951年毕业于日本农业大学农学部农艺科。1953年毕业于日本农业大学农学部农艺科。1955年毕业于日本农业大学农学部农艺科。1957年毕业于日本农业大学农学部农艺科。1959年毕业于日本农业大学农学部农艺科。1961年毕业于日本农业大学农学部农艺科。1963年毕业于日本农业大学农学部农艺科。1965年毕业于日本农业大学农学部农艺科。1967年毕业于日本农业大学农学部农艺科。1969年毕业于日本农业大学农学部农艺科。1971年毕业于日本农业大学农学部农艺科。1973年毕业于日本农业大学农学部农艺科。1975年毕业于日本农业大学农学部农艺科。1977年毕业于日本农业大学农学部农艺科。1979年毕业于日本农业大学农学部农艺科。1981年毕业于日本农业大学农学部农艺科。1983年毕业于日本农业大学农学部农艺科。1985年毕业于日本农业大学农学部农艺科。1987年毕业于日本农业大学农学部农艺科。1989年毕业于日本农业大学农学部农艺科。1991年毕业于日本农业大学农学部农艺科。1993年毕业于日本农业大学农学部农艺科。1995年毕业于日本农业大学农学部农艺科。1997年毕业于日本农业大学农学部农艺科。1999年毕业于日本农业大学农学部农艺科。2001年毕业于日本农业大学农学部农艺科。2003年毕业于日本农业大学农学部农艺科。2005年毕业于日本农业大学农学部农艺科。2007年毕业于日本农业大学农学部农艺科。2009年毕业于日本农业大学农学部农艺科。2011年毕业于日本农业大学农学部农艺科。2013年毕业于日本农业大学农学部农艺科。2015年毕业于日本农业大学农学部农艺科。2017年毕业于日本农业大学农学部农艺科。2019年毕业于日本农业大学农学部农艺科。2021年毕业于日本农业大学农学部农艺科。2023年毕业于日本农业大学农学部农艺科。2025年毕业于日本农业大学农学部农艺科。

森田氏を紹介した中国の関連資料



■王小燕

(おう・しょうえん)

1999年入局。

日本語部では火曜日の番組を担当。毎週ネットで更新している「CRIインタビュー」では、中日両国の交流に関わる各界の方たちにじっくりお話を伺います。

安徽省出身。北方工业大学日本語専攻卒、北京外国語大学日本学センター修了。

特別企画

「中日国交正常化45年の歩み

——あの日、その時——

2017年1月から毎週土曜日

19:20～19:30に放送中

再放送: 20:20～21:30

21:20～21:30

22:20～22:30

23:20～23:30

24:20～24:30

翌日7:20～7:30

8:20～8:30(全て日本時間)

CRI公式サイト「ネットラジオ」からもお聞きいただけます。

ジャズが北京に鳴り響く

～中日つなぐ日本人ミュージシャンたち～

■梅田 謙、星 和明

前海や後海、鼓楼大街や外国人の集う三里屯など、北京のバー街では、日没とともに何処からか音楽が聞こえてきます。あちこちのバーで行われている生演奏の音です。そのジャンルと言えばギター一本で歌う歌謡曲の弾き語りなどが主流でしたが、最近ではジャズの音色も耳にするようになりました。

ニューヨークに居を構える名門ジャズ・クラブ“Blue Note”、その中国初の店舗として“Blue Note Beijing”（中国名：藍色音符）が2016年9月にオープンし、ジャズファンを驚かせたことも記憶に新しい昨今、ブームの後押しになっています。

SEIGOES、北京を駆ける!



生徒たちのコーラスと歌う
井上あずみさん



井上あずみさんと娘のゆーゆさん



バーLIVEで客席の少女(中央)と
6677barのマスター(右)が飛び入り参加

5月、日本人ジャズドラマー・SEIGO率いるグループSEIGOES(セイゴーズ)が5月に北京の各地を演奏して巡りました。リーダーのSEIGOさんはジャズドラマーとして、国内外の音楽家たちと多数共演し、全国各地で精力的に音楽を届けています。

北京ツアー初日の13日は北京市内の「6677bar」、翌日はお隣の天津市まで足を延ばして「後巷」、14日は北京の「Modernista」と、現地のバーやカフェで連日ライブを行い北京の夜を盛り上げました。

そして16日、今回のツアー最大のコンサートである『『海淀外国語実験学校』日中国交正常化45周年企画 SEIGOES with 井上あずみ&ゆーゆ』に出演。舞台となったのは北京市内で外国語教育に力を入れる幼稚園から高校までを備えた国際学校です。ゲストに「君をのせて」「さんぽ」となるのトトロ」などで有名な歌手の井上あずみさんと、その娘で同じく歌手のゆーゆさんを迎えて、ジャズあり、ジブリ音楽ありの楽しい演奏を中国の子供達に届けました。また、手作りの「トトロ」のお面をつけた子供達が、ステージで演奏に合わせて踊る微笑ましい一幕も。

演奏を終えたSEIGOさんは、「言葉を越えて音でみんなが結びついた。目指すは中日国交正常化50周年。それまでもどんどん中国に来て、ライブ活動をやっていきたい。『SEIGOESはどこにでも太鼓を持って行って叩くぞ』が心情」と力強く今後の展望を語ってくれました。また、井上あずみさんは、「音楽は国境を越える。音楽が日本と中国を繋ぐ懸け橋になってくれればいいと思う。今回のライブで(娘の)ゆーゆが中国語の歌を歌って、学生たちも一緒になって歌ってくれた。これが本当の交流だと感じた。子供たちが世界を変えていく」とステージで感じた気持ちを話してくれました。

大舞台を終えたSEIGOESは、その後もステージのある限り、出会いのある限り、市内での演奏活動を続け、27日には再び初日の「6677bar」で演奏。バーの店長(ギター)や常連(ボーカル)が飛び入りでセッションし、いまここにしかない音楽が奏でられました。また、たまたま訪れていたフランス夫婦がSEIGOさんのドラムさばきに感動して外にいた3人の娘を電話で呼び出して聞かせ、SEIGOさんはその

子供達にドラムのスティックを渡して即興で演奏を体験してもらうなど、「国境のない音楽」を体現する夜となりました。

演奏を終えたSEIGOさんとメンバーのAKIKOさんを見送ろうと店の外に出てびっくり。なんと2人は、現地で買い付けた電動バイクに荷台を自作し、ドラムセット一式ごと移動していたのです。

「会場にドラムが無いんじゃ始まらないからね。それなら持ってきてしまえばいいんだよ」と語り、夜のバー街を後にするその背中には、国際交流にかける情熱、世界に通用するバイタリティ、そして並々ならぬ音楽への愛を感じました。



本誌『かけはし』と共に
左からYouKiさん SEIGOさん
井上あずみさん ゆーゆさん



BjBj Summer Live2017

北京で活動する吹奏楽&ビッグバンドのアマチュア音楽団体BjBj(Beijing-Japan Brass&Jazz)が、6月11日に北京カナダ国際学校の講堂で夏の演奏会を開催しました。

テレビや映画で聴き馴染みのある楽曲やジャズナンバーを、吹奏楽とビッグバンドのスタイルで披露するこのコンサート。同会場での開催はこれで3年目です。

BjBjは2008年に設立され、現在は年に2回の演奏会(Summer LiveとChristmas Live)を中心に活動しています。その中心になっているのは北京の各業界で活躍している日本人。駐在員や留学生なども多いため、メンバーの入れ替わりは激しいですが、音楽がもたらす縁で、一定の規模を保ちながら活動を続けています。今回はステージに立った31名のうち約1/3が新メンバー、「今だけ」のステージを届けてくれま

した。

スタンダードナンバー「Fly me to the Moon」や、アース・ウィンド・アンド・ファイアーの「September」のジャズアレンジバージョンの他、映画『君の名は。』といった話題作の曲も演奏。さらに、ザ・ドリフターズに扮した団員がドリフのコント楽曲に合わせてパフォーマンスをしたり、アンコールでは昨年ヒットドラマ『逃げるは恥だが役に立つ』の「恋ダンス」も披露するなど、バラエティに富んだステージになりました。

出演者の同僚に誘われて来場したという張伯駒さんは、自身も吹奏楽の経験者。日本人指揮者の指揮の下で演奏したこともあるそうです。「(誘ってくれた)友人の生演奏を見るのは初めて。嬉しい、楽しい舞台だった」と話しました。

また、同じく日本の友人の晴れ舞台に

駆け付けた王媛さんは「音楽がきれいで、ダンスも良くて、楽しかった」と満足気な様子でした。

バンドマスターである森隆三さんはBjBjの創設メンバーの一人です。設立の経緯の中に「北京には色々な楽しみがあるが、その一つとして音楽を中心に集まることに意義があると考えた」と教えてくれました。

夏の大きな舞台を終えた森さんは「音楽は国籍を問わない。今後、中国の楽曲を取り入れることも考えている」と展望を話します。

今回のコンサートは、入場無料で家族、子連れも大歓迎で、誰でも気軽に訪れることができました。「音楽がある限り、どこでも人は繋がることできる」、それを体現する団体として、BjBjの音楽はこれからも北京に響き続けます。



ドリフのパフォーマンスで客席を楽しませる



演奏の様子



北京暮らし～北京の町巡り「双井」～

■劉叡琳

シリーズコラム「北京暮らし」では、観光ガイドブックには載らない市民の生活エリアに着目してご紹介します。

中国の首都、北京の面積は1万6800平方キロで、日本の四国4県とほぼ同じ大きさ、東京都のおよそ8倍にあたります。16の区と2つの県からなり、人口は2016年末の時点で2172万9千人に達したということです。

では、この広い北京の町で、住みやすい生活エリアや住宅団地はどこなところでしょうか。今回は「双井」という町についてご紹介します。

「双井」は、北京東部の朝陽区南西のエリアです。北京のセントラルビジネスエリア(CBD)の「国際貿易センター」の真南にあります。

この辺りは、昔、紫禁城の南側の下町で、付近の広渠門大通りに2つの井戸があったことから「双井」と名づけられました。今、この街の特徴を一言で表すなら「極端」。レトロさとスタイリッシュなライフスタイルが共存する不思議な生活エリアになっています。一方では旧式の住宅団地がまだ多く残され、他方では、新しく建てられた高級マンションや高層ビル、ショッピングモールが林立しています。

国際貿易センターから近いため、この辺りは随分と国際化も進んでいるようです。イタリア、タイ、マレーシア、インド、日本など各国の料理のお店が沢山集まり、アートギャラリーを備えたカフェやスナックなども見かけます。しかも手ごろな値段で、気軽に楽しめます。さらに、その立地の

わりに、家賃がそれほど高くないため、この辺りに居を構える若いサラリーマンが非常に多くいます。独身者や、若いカップル向けのコンパクトなマンションが相次いで登場しており、「リンゴ団地」もその一つです。リンゴ団地には、「今日美術館」や「22院街」などの現代アートのスポットがあり、若者を中心に人気を呼んでいます。

賑やかな一方、治安の面で不安もあり、さらに昔の町並みなので、道路が狭く、渋滞しやすく、駐車スペースが足りないなどのデメリットも挙げられます。アクセスは地下鉄10号線か7号線の「双井駅」。ここは2つの路線が通る乗換駅として、北京市東南部の交通の要衝ともいえます。



■劉叡琳

(りゅう・えいりん)

2002年入局。ニュースキャスターのほか、毎週月曜日の番組を担当。

「ライフマガジン」やネット更新中の「いきいき中国」で、最新のライフスタイルから、昔ながらの懐かしい暮らしまで、「生」の中国をお届けしています。

雲南省出身。北京第二外国語大学大学院日本語専攻修了。





劇は衰退し、台湾地区のみが発展を続けました。しかし、1980年代以降、中国政府は人形劇の保護に乗り出し、漳州木偶芸術学校が創設されました。「漳州木偶劇団」が新たな試みとして児童劇『森林的故事』を上演するなど、大衆に受け入れられるための工夫が続けられます。

そして2012年、福建省の人形劇が世界無形文化遺産の優秀実践リストに登録されたことをきっかけに、福建省は人形劇の継承者育成や宣伝・普及に取り組んでいます。そこで大きな役割を果たしているのが、泉州市と漳州市の木偶劇団です。

福建省を訪れた際には是非、本場の木偶劇団の劇場に足を運んで、人形劇を楽しんでみてください。

世界無形文化遺産めぐり 福建省の操り人形劇

■任春生

木偶人形を操る劇「木偶戲」は、北齊時代(550～577年)に形成され、唐代から宋代にかけて大きく発展したとされています。現在、人形劇は「提線木偶戲」(糸操り人形劇)、「布袋木偶戲」(指遣い人形劇)、「杖頭木偶戲」(棒遣い人形劇)、「鉄線木偶戲」(針金で操る人形劇)の4種類に分けられます。

福建省では、糸操り人形劇と指遣い人形劇が盛んで、これらの発祥地とされているのが泉州市です。2012年12月、福建省の人形劇は国連の「無形文化遺産保護条約」に基づく「中国民俗民間文化保護プロジェクト」の優秀実践リストに登録されました。

まずは、糸操り人形劇を紹介しましょう。糸操り人形は通常、関節をもった人形の各部に糸をつけ、上から吊り下げて操作するもので、操者は糸を取り付けた「手板」と呼ばれる吊り手を使い、糸さばきによって人形を動かします。糸の数は1本のものから20本を超えるものまであり、「手板」からの吊るし方も、トンボ型水平式や垂直型階層式のものなど多様にあります。泉州の糸操り人形劇では通常、13～30本の糸で人形を操り、演目は約700本あります。

次は、指遣い人形劇です。中国では布袋劇(ほていげき)とも呼ばれています。その起源は17世紀の泉州ですが、現在は福建

省の漳州市や広東省の潮州市、そして台湾地区等でも人形劇の一種として伝えられています。人形の頭部や手足部は木製、それ以外の身体部は布製の衣服により構成されており、衣装の中に手を入れて操作します。「布で作られた袋状の人形」を用いたことから生まれたのが「布袋劇」の名称です。

伝統的な指遣い人形劇では、人形師は左手を人形の中に入れて操作しました。人形の手と頭、身体全体の動きのみで感情を表現する必要があり、熟練した技術が求められます。20世紀中期以降になると、台湾地域を中心に指遣い人形の大型化が進み、臉や口を操作したり、手脚が湾曲したりする機構も採用されました。

いずれの人形も、基本構造は身体、衣装、頭部装飾に分類されます。身体には木製の頭部、布製の身体部、木製の手、布製の足、木製の靴が含まれます。

人形の頭部の多くは、古くは中国泉州で生産されていました。銀杏などを材質とする泉州産の「唐山頭」が全国で使用されていたのです。

人形劇の脚本の多くは口伝されたもの、または講師が出演者に述べた内容に従っており、書物として伝わるものは非常に少ないそうです。

1945年以後の福建省では指遣い人形



■任春生

(にん・しゅんせい)

2003年入局。

中国の世界遺産めぐり、中国の世界無形文化遺産めぐりなどのシリーズ番組を担当、中国の歴史と文化を紹介。現在は番組「中国の旅・デラックス」を担当。

江蘇省塩城市出身。南京農業大学日本語科卒、北京外国語大学日本学研究

中国の苗字を知る

百家姓物語

■張怡康

書籍『百家姓』は、子供らに漢字を教えるために馴染みのある姓を504集めた学習書の1つで、北宋(960~1127年)の初めころに成立したとされます(諸説あり)。「趙錢孫李周呉鄭王・・・」とリズムカルにはじまり、中国の代表的な姓が記されています。

このコーナーでは、『百家姓』から取り上げた中国の苗字を紹介します。



雷(léi)

使用人口:369万 人口ランキング:78位

日本の梅雨ほどではありませんが、北京も夏を迎える時期、雷を伴うにわか雨の降る回数が増えます。そこで今回は「雷」という苗字を取り上げましょう。

雷という苗字の由来としてよく知られているのは、生姜の「姜」から来ているというものです。「姜」姓は、中華文明の発展において最も有名な皇帝の一人である炎帝(古代中国における神話時代の皇帝)の苗字です。炎帝は夏をつかさどる神で、人々

に医療と農耕の術を教えました。彼の9代目の子孫が、「雷」という人です。雷は死を恐れない武将で、戦争で大きな功績をあげたことで「方山」という土地を授かりました。そこに暮らし始めた「雷」の子孫は、最初は「方雷」という複姓を名乗りましたが、時が経つにつれて「雷」と「方」に分かれていったのだそうです。

もう一つの由来は、少数民族の楽器に関わるものです。モンゴル族には昔、モン

ゴル語で「忽雷」と発音する楽器がありました。中国では昔、音楽に関わる職業は家庭で代々引き継がれることが多かったため、この忽雷を弾く人々の子孫が、「雷」姓になったという説があります。ちなみに忽雷という楽器は琵琶に似ていて、今ではもう弾ける人がいないと言われています。北京の故宮博物院には、現存する2面が展示されていますよ。

「雷」姓の有名人① ——建築家・雷發達



雷發達(1619-1693)は中国のシンボル・故宮博物院の中でも最も有名な「太和殿」などを手掛けた、高名な建築家です。その一族も多くが建築家で、円明園や頤和園など多くの皇室庭園を作り上げました。その独特な建築様式から、雷發達の一族は「様式雷」とも呼ばれます。故宮には、彼らが200年余りの期間にわたって建てた多くの有名建築の資料が保存されています。

「雷」姓の有名人② ——中国のジョブズ・雷軍



雷軍(1969-)は現代の実業家。中国の総合家電メーカー・小米科技(シャオミ)の創業者兼会長です。初期はソフト開発メーカーでしたが、2011年8月に同社初のスマホ本体を発売。一流企業に肩を並べ、わずか3年足らずで国内シェアトップとなりました。今ではスマホと連携するテレビ、空気清浄機、炊飯器など、スマート家電分野にも進出し、雷軍はファンたちから「中国の스티ーブ・ジョブズ」と呼ばれています。



■張怡康
(ちょう・いーかん)

2014年入局。初めて日本語に触れたのは1997年。日本語部では主にラジオ番組、SNSプラットフォームの管理、映像番組(ネット)を担当。中国語講座番組「日本で実践!中国語」では、「日本で中国人と出会った時に使える中国語」をお届けしています。

遼寧省出身。北京第二外国语学院日本語同時通訳専攻卒、ニューヨーク大学大学院修了。

日本で実践!中国語

かけはし出張版 富士山についての会話

この講座番組では、日本で中国人と出会ったとき、どんな風に中国語で会話すれば良いかを一緒に勉強しています。

中国人の「日本で行ってみたい場所」といえば、東京、京都、桜の名所にディズニーランド…たくさんありますが、その代表格はやはり日本の象徴・富士山でしょう!その姿を思い浮かべるだけなら誰でもできますが、どうせなら中国語で富士山の紹介ができるようになりたいですね。

「日本で実践!中国語」の第50課の内容を抜粋してお届けします。

ちよういーかん
張 怡康



「2015年の富士登頂は、一生の思い出!」

うめだ けん
梅田 謙



「五合目までしか行ったことない」

会話

- Pá fùshìshān xūyào duō cháng shíjiān?
A: 爬富士山需要多长时间?
Dàyuē liù ge xiǎoshí.
B: 大约六个小时。
Fùshìshān shàng yǒu shānxiǎowū kěyǐ xiūxi,
富士山上 有 山小屋 可以 休息,
dièrtiān yìzǎo qù shāndǐng kàn rìchū.
第二天 一早去 山顶 看日出。
Tīngshuō fùshìshān shì huǒshān?
A: 听说 富士山 是 火山?
Shìde. Rào huǒshānkǒu zǒu yìzhōu jiào bō xún.
B: 是的。绕 火山口 走 一周 叫“钵巡”。
Nàlǐ hái yǒu shénshè hé yóujú.
那里 还有 神社 和 邮局。
Yíding hěn zhuànguān!
A: 一定 很 壮观!

訳文

- A: 富士山に登るにはどれくらいかかりますか?
B: 大体6時間です。富士山には山小屋があって、そこで休むことができます。
次の日の早朝に頂上へ行って、日の出を見ることができます。
A: 富士山は火山だと聞きましたが。
B: そうです。噴火口を一周することを「お鉢めぐり」と言います。
そこには神社と郵便局もあります。
A: きっと壮観な眺めですね!

構文: 多

- ★数量の多さを表す。
- ★副詞: どれくらい、どれだけ
- ★疑問文: 「多+形容詞」の形で、物事の数量や程度を尋ねる。
duō cháng shíjiān
例: 多 长 时间 (どれくらいの時間→どれくらいかかるか)

単語

shānxiǎowū	山小屋	山小屋
yìzǎo	一早	早朝
rìchū	日出	日の出
huǒshān	火山	火山
rào	绕	巡る・回る
huǒshānkǒu	火山口	噴火口
bō xún	钵巡	お鉢めぐり
shénshè	神社	神社
yóujú	邮局	郵便局
yíding	一定	きっと
zhuànguān	壮观	壮观だ

「日本で実践!中国語」は以下の方法でお聴きいただけます。

- ★Podcast iTunesや対応アプリで「中国語」「日本で実践」を検索。
- ★CRIラジオ 毎週火曜日と金曜日に好評放送中!
- ★Webサイト CRI公式サイトの「中国語教室」コーナーへお進みください。
URLはこちら→<http://japanese.cri.cn/15home/hanyu.htm>



あなたの知らない パンダあれこれ

■周莉

所変われば好みも変わる。でもパンダを一目見ると「かわいい!」と口にしてしまうのは世界共通でしょう。近ごろはパンダ動画が簡単に見られるようになったおかげで、筆者もすっかりパンダに夢中になってしまいました。

このコーナーでは、皆さんがまだ知らないパンダのことをご紹介いたしましょう。

🐼 ジャイアントパンダの基本知識

白黒模様のいわゆる「パンダ」は正式には「ジャイアントパンダ」と言います。中国語では「大熊猫」と書く、熊科の動物です。食肉目に属しますが、やがて竹や笹を食べるようになりました。しかし消化系の構造は肉食動物のように短いま。そのせいで、食べる量が多いにもかかわらず、栄養は3割ほどしか吸収できず、パンダは一日に数十時間も食べ続けなければなりません。

パンダの体重は85キロ~125キロぐらいですが、赤ちゃんはわずか100グラムほど。パンダは、親子の体重差が最も大きい動物の一例でもあるのです。



生まれたばかりの赤ちゃんは白黒模様のないつるつるとしたピンク色で、生後1週間ほどで毛が生えはじめ、はっきりとした白黒になるには、約1カ月かかります。

🐼 白黒じゃないパンダもいる?

2016年8月19日に成都ジャイアントパンダ繁殖研究基地で生まれた雄パンダ「成実(チェンシー)」は、生後1カ月で白と灰の毛並みになりました。黒いはずの部分に白い毛が混ざり、灰色に見えたのです。「生まれた時にインクが切れたのでは」などという心配の声もありましたが、この毛色は長くは続かず、今では普通の白黒模様となりました。

一方で、成長しても色が変わらないパン



ダもあります。「七仔(チーザイ)」という今年8歳の雄パンダは、世界でたった一頭の茶色いパンダ。現在、陝西野生動物研究センターで暮らしています。見る角度によってはクマのようですが、毛色とその並外れた人気以外は、いたって普通のパンダです。



🐼 パンダだって見た目が違う!

同じような白黒模様で、しかも双子が生まれやすいパンダ。一頭一頭の区別ができるか心配ですよね。飼育員によれば見分けるポイントはいくつかあって、耳の形、目の周りの黒毛の形、背中中の黒毛の模様、口回りと足の毛色などで判断できるそうです。



パンダ界にも絶世の美貌で知られる三大「美パンダ」がいます。北京動物園の「萌萌(モンモン)」とハルビンの「思嘉(スージャ)」、そして、2012年の四川大地震で

救助された「北川(ベイチュアン)」です。普通よりも丸くモフモフした顔、整った白黒模様、ぼっちゃんとした体つき、愛嬌のある振る舞いなど、些細な動作にも見入ってしまうほど、魅力的な美パンダです。

🐼 定番の愛称は「ゲングン」

中国には様々なパンダの愛称があります。たとえば飼育員たちは「猫猫(マオマオ)」と呼び、親しみを表します。ファンの間での定番の呼び方は「滾滾(ゲングン)」です。むっちりしているという意味の「肥滾滾」という言葉があるのですが、「滾滾」だけだとコロコロ転がるという意味になります。太っちょパンダは足の力があまり強くないようで、食事の時にいつも転がって半分横たわる姿勢になっていますよね。また、小パンダはわざと転んで遊んだりもします。

そんなパンダの愛称「滾滾」、日本語では「コロちゃん」でしょうか。コロコロ転がるパンダのコロちゃんを、思いっきり可愛がってあげたいですね。

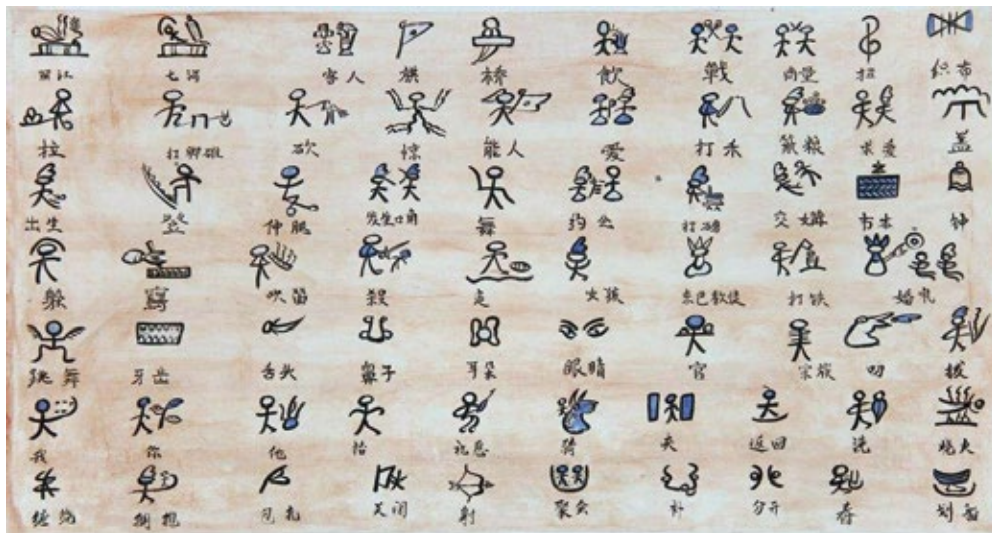


■周莉

(しゅう・り)

1998年入局。

ニュースデスクのほか、毎週木曜日の番組を担当。長年日本へ発信する第一線で積み上げたノウハウを生かして、聞き甲斐、読み甲斐のあるイキイキとした情報をお届けします!



56の民族、56輪の花

ナシ族

■孟群

ナシ族(納西族)は雲南省北部を中心に、四川省南部やチベット自治区東部にも一部分布する少数民族で、民族自治区域としては、雲南省麗江市に所属する玉竜ナシ族自治県がありますが、麗江市の中心部である古城區にも多く住んでいます。

ナシ族は、2010年の調査では人口が32万6000人ほど。日本の秋田市の人口とほぼ同じで、少数民族の人口順位は26位です。

固有のナシ語はチベット・ビルマ語族に属し、民族的にはイ族やリス族に近いですが、漢族との往来が多いため、ナシ族の多くは標準語も話します。

トンパ文字という独特の象形文字を持つのがナシ族の特徴です。宗教的に用いられてきたトンパ文字は、原始仏教にもっとも近いとされる世界で唯一の生きた象形文字としてユネスコの世界の記憶事業に登録されています。トンパというのは司祭のこと。司祭のみに受け継がれる文字なのでトンパ文字と呼ばれ、経文の記録など、宗教と切り離せない関係にあるのです。

社会的に普及しないトンパ文字は、標準化が進まず、異体字が多いのが特徴で、書く人によって差が出てしまいます。単語の意味は、宗教や伝統に関するものが多く、真の意味で理解するのはとても難しい

とされます。

ユニークなことに、トンパ文字は同じ書き方であっても、文字の色によって意味が変わってきます。トンパ文字には1400の単語がありますが、色の変化によってその意味を広げていきます。たとえば、黄色にはお金、黒には悪などの意味があり、単語と色の組み合わせで表現を行うのです。

絵文字のようなトンパ文字は、見るだけでもなんとなく意味が分かるかもしれませんが、ナシ族ならではの形の文字もあります。たとえば「天」の字は、底辺のない二等辺三角形の形をしています。一見、これが「天」だとは分かりませんが、ナシ族の宗教において、天は優しく力強く世界を覆うものとされるため、この形がまさに彼らにとっての「天」の形なのです。ほかにも、「女」の字には「大きい」というもう一つの意味が、「男」には「小さい」という意味がありますが、これはナシ族が伝統的に母系社会であるためです。

トンパ文字で作成された宗教典籍「トンパ経」は、古代ナシ族の百科事典ともいえるもので、2003年にユネスコの世界記憶事業に登録され、デジタル保存が進められています。その一方で、ナシ族伝統の製紙法でできたトンパ紙に手書きされたものもやはり大事にされています。



■孟群
(もう・ぐん)

1991年入局。ニュースキャスターのほか星和明アナとハイウェイ北京・木曜日2時間目の番組を担当。

「56の民族、56輪の花」のコーナーで週一回、中国の少数民族の話をお届けします。民族名の由来や歴史、その衣食住など、さまざまな興味深い話題を、楽しくお話しします。

湖北省生まれ、出身校は北京外国語大学、日本語専攻。

空海を追いかけて

——日本人書道家・小林芙蓉 密教の発祥地を訪問

■文化交流実行委員会

今年是中国国交正常化45周年にあたる年。この記念すべき年に、日本の書道家・小林芙蓉女史一行40人余りが5月の末、空海ゆかりの地・西安に向かいました。

一行が訪れたのは、密教の発祥地とされる青龍寺と大興善寺です。唐へ渡った空海は、延暦24年(西暦805年)に青龍寺の恵果阿闍梨に弟子入りし、恵果阿闍梨は自らが知るところの全てを空海に授けました。翌年、日本に帰国した空海は中国の仏教や医学、文化・芸術を持ち帰るとともに、日本最大の宗派・真言宗を創立、また、日本の書道の基礎をも築きました。

小林芙蓉女史一行は青龍寺の「恵果空海記念堂」で、大興善寺と青龍寺の住職を兼任する寛旭阿闍梨が主宰する読経会を見学しました。

その後、中日国交正常化45周年を記念する意味を含め、中国国際放送局日本語部を代表して万兵プロデューサーが、小林

女史、寛旭阿闍梨と共に、中日友好記念碑の除幕を行いました。

除幕式では、小林女史が自ら植えた松の木に、日本の高野山・金剛峰寺から携えた泉の水を与え(高野山は日本の真言宗の総本山で、空海法師が入定した場所)、寛旭阿闍梨に両国の友好を祈る内容を記した書道作品を贈呈しました。

除幕式後、参加者一同による歓談が、和やかな雰囲気の中で始まりました。寛旭阿闍梨は「小林女史は中国に対して深い感情を持つ書道家・画家であり、中日両国の友好の使者でもある。われわれは小林女史と手を携え、書道を絆に、中日の文化交流を促進し、これからも両国民の間の相互理解や友好関係の増進に貢献していきたい」と語りました。寛旭阿闍梨は、大興善寺で年末に予定されている書画展に小林女史を招くとともに、観音菩薩の像を贈呈しました。小林女史は「日中の文化

交流の歴史は長い。この友情を引き継ぎ、後世にまで伝えていきたい」と語りました。その後、一行は大興善寺を訪れ、寛旭阿闍梨を法主とする法会に参加し、先人の冥福と、今を生きる人々の幸せ、世界の平和を祈りました。

大興善寺境内の博物館を見学し、同寺院の寛林法師の説明を受けた一行は、歴史や仏教、空海と、空海がかつて滞在した長安、大興善寺、青龍寺について深い理解を得たと感想を話していました。

訪問の終わりに小林女史が大興善寺で揮毫を行い、寛林法師らの見守る中、作品「愛」を完成させました。両国民が愛と友情を大切にしていくことを祈る気持ちが込められたこの作品は、大興善寺に寄贈されました。



1



3



4



2



5

1.記念碑の除幕を行う万兵(CRI、左)、小林女史(中)、寛旭阿闍梨(右) 2.大興善寺で寛旭阿闍梨と共に読経し、幸福を祈る一行 3.大興善寺で揮毫する小林女史 4.寛旭阿闍梨から観音菩薩像の贈呈を受ける小林女史 5.恵果空海記念堂の前で記念写真

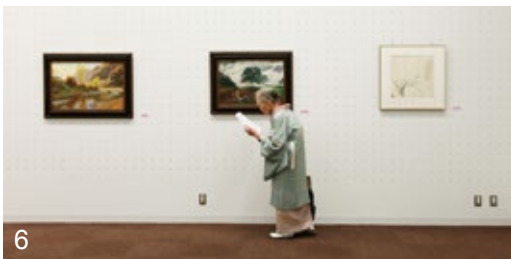
「和して同ぜず」東北アジア書画展2017



『和して同ぜず』東北アジア書画展』は、中国国際放送局が企画・主催する国際展覧会で、東北アジアに位置する5カ国(中国・日本・韓国・朝鮮・モンゴル国)の芸術家が作品交流を通じ、互いに理解を深めていくことを目的としています。

2015年は北京、湖北省黄冈市、大阪で、2016年は東京、北京とモンゴルのウランバートルで、そして今年4月に東京美術館で実施しました。次回は8月に北京で開催予定です!

「和して同ぜず」東北アジア書画展2017北京
 会期:2017年8月25日(金)~30日(水)
 会場:北京民族文化宮(北京市西城区復興門内大街49号)
 入場料:無料



4月・東京展 開幕式には100名超の芸術家が参加

今年4月19日、『和して同ぜず』東北アジア書画展2017東京』および「第26回全日中展-東京国際美術大展」が開かれました。両展覧会は中国国際放送局(CRI)とCRIのネット部門である国際オンラインの書画チャンネル、全日本中国水墨画芸術家連盟、日中協会の共催で行われました。

中国、日本、アメリカをはじめとする各国から100名を超える芸術家代表が参加した開幕式では、日本文部科学省文化庁を代表して出席した柏田昭生氏が挨拶に立ち、「本展覧会には、水墨画、書道、篆刻、日本画など、多彩な作品が寄せられている。数々の優れた作品が、来場者の皆さんに深い感銘を与え、美術の素晴らしさを存分に伝えてくれると確信している」と述べました。

また、全日中展文化交流友好大使の木暮照子女史は、「芸術を通して中日交流が更に深く広まることは、世界の平和につながるだろう」と話しました。

本展覧会は4月24日までの6日間にわたり、中国、日本、アメリカ、韓国、モンゴル、朝鮮からの芸術作品200点あまりが展示されました。

1.田仲勇一郎(日本)作品「涛声」 2.ハ・ザヤトゥ(モンゴル)作品「八頭の駿馬」 3.朱仁淑(韓国)作品「柿の木」(※1~3は 2016北京の展示作品) 4.美術展のテーブルカット 5・6.美術展会場で 7.懇親会での記念写真



北村史郎:初めての中国語期末試験



映像
番組

『北京の表情』 ～北京で暮らす日本人～

「北京」で暮らす日本人、日本と繋がりたい。通して、中国の社会や文化、歴史、生活、仕事、趣味、などについて、毎月、生活や仕事ぶり、北京の街の様子などを、北京の日本人と交流し、インタビュー交えてご紹介しています。日本語が堪能な日本人と交流しますので、両国の皆さんにお楽しみ頂けます。

(番組は<http://japanese.cri.cn/781>からご覧ください)



羽賀みゆき:中日友好の明日を支えるヤングパワー



瀨瀬義隆:走って北京を満喫



浜田祐一:趣味の秋～ルービックキューブの魅力～



中山孝蔵:電波が結ぶ、遠い国からの挨拶



ゆう十:人気歌手 北京登場

『北京の表情』 ～暮らしの日本人～

様々な表情を持つ中国人たちの様々な「表情」を、北京などから「今」の魅力をお伝えする映像番組。北京にいる普段の何気ない様子をインタビュー形式で撮影。日本語字幕Ver.と中国語字幕Ver.の両方ありの番組です。

<http://www.cri-cbn.com/2015/07/28/Zt181s239871.htm>



嘉納奈々:ピアノで奏でる北京暮らし



平林孝之:目指せ!中日歌唱コンテスト



谷尾詩織:北京から新しいスタート～成人式～



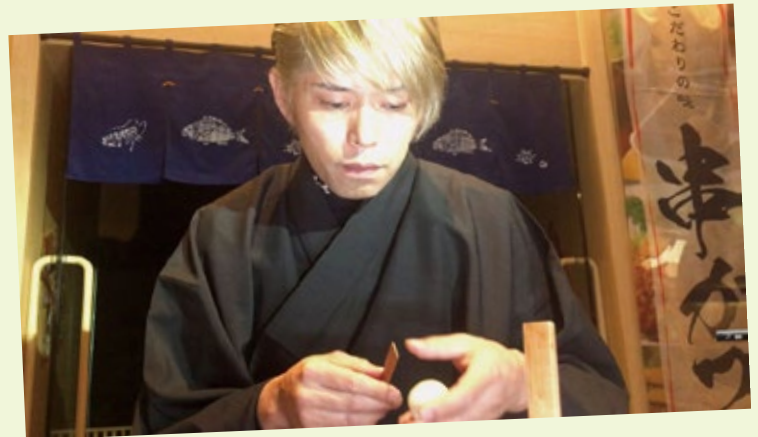
伊藤菜生:青少年日本語教育の最前線にて



BJBJ:音楽で盛り上げよう!北京ライブ



中野啓史:目指せ!北京No.1ショッピングモール



三堀純一:美しく咲き誇る和菓子

話 はなし HANASHI 嘶

■文 李順然 ■写真 薛移

真夏の昼の物語

百年の老樹日傘に胡同※納涼
八月の朝顔に知る平和かな

豆腐池胡同のロマン

北京東城区の豆腐池胡同(横丁)は少なくとも二百年以上の歴史を持っているようです。元、明、清と六百年にわたって鐘を撞いて北京の住民にときを知らせてきた鐘楼のすぐ近くで、この胡同の両側には樹齢百年を越える槐(えんじゅ)の老木、夏になるとその枝葉が伸び、胡同を覆う涼しい緑のトンネルを造って森の都の面影を残してくれています。

八月中旬のある日、写真を撮るために自転車でのこの胡同を訪れた薛移さんの話によると、日が照り付ける大通りからこの胡同の木陰に入るとひんやりとする涼しさが感じられたそうです。お年寄りがうちわ片手に涼をとる姿も見かけたそうです。

ちょっと話が飛びますが、毛沢東と楊開慧の恋愛、結婚の話。これは中国ではよく知られているのですが、その発祥の地というか、ルーツが上述の豆腐池胡同であるということは、あまり知られていません。この話をしましょう。

毛沢東は、一九一八年、二十六歳のときに新しい思想を求めてフランス留学を

志す仲間と北京にやってきました。そして、湖南第一師範学校時代の恩師で、そのころ北京大学の教授をしていた楊昌済をたびたびその家に訪ねて教を乞うのでした。北京大学図書館助手の仕事を紹介してくれたのも楊昌済でした。

実は、この楊昌済の家が上述の豆腐池胡同にあったのです。ここで毛沢東は楊昌済の娘楊開慧と知りあい、恋を語りあう仲になります。この胡同に住むお年寄りは、二人が肩を並べて楽しそうに歩いているのを見掛けたという証言を残しています。二人は一九二一年に湖南の長沙で結婚し子を得ましたが、一九三一年に国民党の反動軍閥である何鍵に捕えられた楊開慧は、毛沢東との離婚の声明を出すよう迫られ、これを拒み銃殺されています。



豆腐池胡同、家の門に赤い「双喜」の字

新中国誕生後の一九五七年、毛沢東は「蝶恋花・李淑一に答える」という詞を作り、その冒頭で「我、驕(誇り高き)楊(楊開慧)を失い」と記し、楊開慧を偲んでいます。毛沢東六十五歳のときのこと、楊開慧が亡くなって二十六年後の話です。

ところで、薛移さんの撮ってきてくれた豆腐池胡同の写真、左側の家の門に「喜」という漢字を横に二つ並べた赤い図案が貼られていますね。これは「双喜字」と呼ばれ、結婚とかおめでたがあったとき、門などに貼られる縁起ものです。豆腐池胡同の「双喜字」、縁起を担ぐわけではありませんが、なにかあの世の毛沢東、楊開慧の幸せを祝福しているように感じられてなりません。ちなみに、中国の結婚証書には、この「双喜字」が透かしに使われています。

一九四五年八月十五日

わたしは在日華僑二世で“東京で”暮らしていました。あの戦争のときは、東京の夜空を赤く染めた大空襲に何度も遭いました。

わたしを狙ったかのような、米軍のきわどい機銃掃射を受けたこともありました。広島、長崎への原爆投下のあとは、これが東京にも落とされるのではとびくびくする毎日を送っていました。毎日毎日代用食で



おなかはぺこぺこでした……。

こうしたある日、つまり1945年8月15日の昼、日本の無条件降伏を告げる昭和天皇のラジオ放送を聞いたのです。中学一年生だったわたしが最初に思ったのは「おう、助かった、これで死ななくても済むな」ということでした。



わたしの住むマンションの庭に咲く朝顔

庭に出ると、真昼の太陽が燦燦と輝いていました。ひさしぶりにゆっくりと見る太陽の光、それに照らされて垣根の朝顔の赤い花、青い花がまだしばまらずに開いていました。限りなく静かで、聞こえてくるのはセミの鳴き声だけでした。あとで知ったのですが、あの日の東京の最高気温は三十二度だったそうです。

話はあれから一足飛びに七十年くだって、去年の夏のことです。少年だったわたしは、もちろん老人になっているわけです

が、マンションの庭の一角、普段はあまり足を運ばない片隅で朝顔を見掛けました。その赤い花、青い花、わたしを日本の「戦後」が始まったばかりの一場面にタイムスリップさせてくれました。多分、一九四七年か四八年ごろのことです。中学の社会科の授業で高橋泰郎先生が新しく生まれた平和憲法について熱っぽく話してくれました。「日本はこの戦争を反省し、もう絶対に戦争をしないことを全世界に宣言した。新憲法にはこのことがはっきりと記されている。君たちはこの平和な環境のなかで豊かな国造りに励む主力軍だ。がんばってくれたまえ」

教室からは拍手が起こりました。中国人であるわたしもクラスメートと一緒に手が痛くなるほど拍手しました。感激のひとつきでした。街では「東京ブギウギ」「青い山脈」などが歌われていたあの時代、それなりに楽しい思い出が沢山ある時代でした。

そして、八十余歳のわたしが、北京でこの朝顔にめぐり逢ったのは、奇しくも2016年の8月15日だったのです。この日の北京は晴天、最高気温は三十度、明るい太陽が平和を祝福するように燦燦と輝いていました。冒頭の拙句第二句はこの日に作ったものです。

「真夏の夜の夢」(シェイクスピア)ならぬ、「真夏の昼の物語」でした。

※胡同とは北京の街の東西南北を縦横に走る横丁のこと。北京の庶民の生活を語る上で、胡同は不可欠な存在です。



■李順然(り・じゅんぜん)

中国国際放送局日本語部に50年勤続したOB。趣味は本、雑誌、新聞などの「雑覧」。



■薛移(せつ・い)

日本語部でリスナーとの交流・連絡を担当。この道一筋三十数年。趣味は旅行、北京漫步。

■新語で知る中国事情

キーワードチャイナ

■謝東

duì
怼

やっつける

辞書ではこの字は「恨む」という意味で載っている。しかし、ここで言うのはネット流行語としての「怼」。この「怼」は「やっつける」という意味になる。その由来は河南方言なのだそう。河南方言では、「怼」の意味はまるで英語の「Do」のようにたくさんある。「やっつける」はその1つだ。この使い方はあるリアリティ番組で使われ、流行りだしたもの。CCTVの報道番組でも使われたことがある。

[例文]

节目中英国人和澳大利亚人爆笑互怼。

番組の中でイギリス人とオーストラリア人が面白おかしく言い合った。



Cháoyáng qúnzhòng
朝阳群众

朝陽区に住む一般人

「朝阳」は朝陽区、北京市最大の行政区で、外国の大使館やオフィスビル、1990年のアジア大会と2008年のオリンピックのメイン会場もこの区にあるほか、高級ショッピングモール、高級住宅、ゴルフ練習場なども集まっている。したがって、このエリアに住む有名人も多い。「群众」は一般大衆、一般市民、一般人の意味。「朝阳群众」で朝陽区に住む一般市民となる。

日本なら、田園調布の一般人、六本木の一般人といった感じだろうか。

しかし、ここで言う「朝阳群众」は、ただの一般人ではない。有名人の薬物使用や違法取引、さらに刑事案件の調査

に情報を提供する市民のことを指している。実は、この「朝阳群众」というのは警察が情報提供者のプライバシーを保護するために使う呼び方で、実際には本物の「朝阳群众」、つまり朝陽区の住人とは限らないようだ。

重要な情報を常にリークする「朝阳群众」のことを、ネットユーザーたちは冗談で「CIAやKGB、MOSSAD、MI6と並ぶ情報機関だ」と言っているわけだ。



lùzhuǎnfěn
路转粉

通りすがりの人からファンになる

「路」は「路人」の省略で、道行く人、赤の他人、通りすがりの人。「粉」は「粉丝」の省略で、ファンの意味。「路转粉」は「路人」から「粉丝」になる、「通りすがりの人」から「ファン」に転向するということ。ある出来事によって、人やことに対する考え方が変わり、無関心からファンになった、熱心になったということである。

[例文]

家常问候让客户路转粉。

日常のあいさつによって顧客が熱心なファンになった。



路转粉

āpózhǔ
阿婆主
up主

漢字を見て、年配の女性と関係があるように思われるが、「阿婆」は英語upの音訳。「阿婆主」はup主、うp主とも言って、インターネットで画像や動画、音声ファイルなどのデータを、掲示板・動画共有サイトなどに投稿した人のことを指す。語源は「アップロード(Upload)されたデータ(動画)の主」。

この言葉は日本から伝わってきたネットスラングで、中国ではACGN(アニメ、漫画、ゲーム、小説)動画サイトでよく使われている。ポイントは、「阿婆主」イコール製作者ではなく、転載する人も「阿婆主」と呼ぶこと。だが、近ごろは他人のものを転載するのではなく、製作者としての「阿婆主」が多くなっていて、中にはカリスマ的な存在もいる。クリエイティブになってきている訳だ。

阿婆主



■謝東
(しゃ・とう)

1992年入局。中国語講座関連の番組「キーワードチャイナ」や「文法ノート」などを担当。言葉は生きものという考えのもと、教えるというよりも、リスナーの皆さんと一緒に勉強していく気持ちで日々努力している。

北京市出身。1992年北京師範大学日本語学部卒業。2004年～2005年慶応義塾大学メディア・コミュニケーション研究所客員研究員。

イチオシ! 中国映画 中国音楽



■ 閔亦氷(みん・いひょう)

音楽や映画、生活などさまざまなジャンルの番組を手がけ、10年以上ラジオのパーソナリティとして活躍。2015年から日本語部映像担当プロデューサー。カメラを通して中国の最新情報と魅力を発信しています。

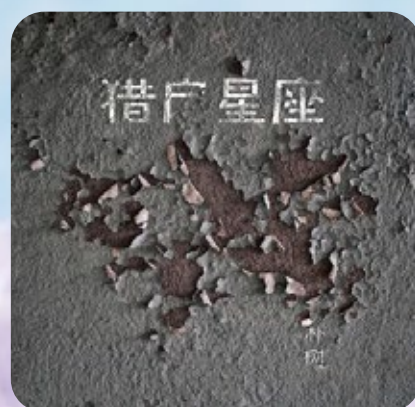
北京出身。北京外国語大学日本語学科卒。



我是我 (I AM ME)

蔡淳佳(ジョイ・ツァイ)
発売日: 2017年5月26日

夏川りみの「涙そうそう」の中国語カバー、『陪我看日出(いっしょに朝日を見に行こう)』で大ヒットを記録したシンガポール出身の女性シンガー、蔡淳佳(ジョイ・ツァイ)が2017年にニューアルバムをリリース。フルアルバムとして実に8年ぶりとなる今作では、全楽曲の作曲をジョイ本人が手掛けており、シンガーソングライターとしての才能を発揮しています。タイトルは「我是我(I AM ME)」=「私は私のままで」で、「いろんな私と出会う」をテーマに、「自信と優しさ」、「自立と大人らしさ」、「強さと弱さ」、「クールと情熱」といった自身の様々な側面を表現しています。「自ら運命を切り開こう」と力強く発信するタイトルチューン「我是我」や「自分のままで生きていこう」と優しく綴ったシンプルなバラード「傍観者」を含む全8曲を収録。



獵戶星座 (オリオン座)

朴樹(プー・シュー)
発売日: 2017年4月6日

独特の世界観と多彩な音楽スタイルにより中華圏で絶大な人気を集めたシンガーソングライター、朴樹(プー・シュー)が、実に14年ぶりとなるフルアルバムをリリース。1999年にアルバムデビューした彼は控えめな性格で知られ、メディアでの露出が非常に少ないうえに、作品の数も極めて少ないです。今作は人気作家、韓寒(ハン・ハン)の映画監督デビュー作『后会無期(日本題:いつか、また)』のエンディングテーマ「平凡之路」(2014)や、第68回カンヌ国際映画祭で監督賞を受賞した侯孝賢(ホウ・シャオシェン)監督作品『黒衣の刺客』のキャンペーンソング「在木星」(2014)をはじめ、先行シングル4曲に7つの新曲を収録し、2014年に音楽活動を再開して以来の軌跡を記録した一枚となっています。

中国エンタメ情報はCRI公式サイトでも続々配信中!
<http://japanese.cri.cn/15home/ent.htm>



我心雀跃

(My Heart Leaps Up)

公開日:2017年6月9日
 監督:劉紫微(リウ・ズーウェイ)
 主演:孫伊涵(スン・イーハン)
 宋寧(ソン・ニン)
 周楚楚(ジョウ・チューチュー)
 修健(シウ・ジェン)
 杜双宇(ドゥー・シュアンユー)

新人監督、劉紫微(リウ・ズーウェイ)がメガホンを取る中国映画『我心雀跃(My Heart Leaps Up)』がこの6月に一般公開を決定。陳凱歌(チェン・カイコー)、張芸謀(チャン・イーモウ)と肩を並べる中国「第5世代」監督の一人、田壯壯(ティエン・チュアンチュアン)が芸術顧問を務めていることから、期待が高まります。

学校の先生に密かに思いを寄せる一人の少女の片思いを繊細に描いており、観れば誰もが自分の学生時代に思いを馳せる、ノスタルジックでほろ苦い青春恋愛物語となっています。同作は昨年6月に開かれた上海国際映画祭で初公開され、監督賞へのノミネートも果たしました。1年越しとなる一般公開を迎え、大きく注目されています。



六人晚餐

(Youth Dinner)

公開日:2017年6月16日
 監督:李遠(リー・ユエン)
 主演:竇驍(ショーン・ドウ)
 張鈞甯(チャン・チュンニン)
 鄔君梅(ヴィヴィアン・ウー)
 吳剛(ウー・ガン)
 俞灝明(ユー・ハオミン)

魯迅文学賞の受賞作家、魯敏の同名小説がついに映画化。1990年代の雲南省重工業基地を舞台に、社会激変期を生き抜く2つの家族の絆と愛情を描くヒューマン・ラブストーリーです。有名映画監督、章家瑞がプロデュースし、カンヌ国際映画祭や台湾金馬獎の最優秀脚本賞に輝いた梅峰が脚本を担当。メガホンをとっているのは、中国「第7世代」監督の一人、李遠(リー・ユエン)です。キャストとしては張芸謀監督の『サンザシの樹の下で』(2010)で鮮烈なデビューを果たした竇驍(ショーン・ドウ)や、台湾の若手女優、張鈞甯(チャン・チュンニン)のほか、今年大ブレイクした政治ドラマ『人民的名义』で主演を務めた吳剛(ウー・ガン)が出演していることでも話題を集めています。



逆時营救

(Fatal Countdown: Reset)

公開日:2017年6月30日
 監督:ユン・ホンスン
 主演:楊冪(ヤン・ミー)
 霍建華(ウォレス・フォ)
 金士傑(チン・シーチエ)
 劉暢(リウ・チャン)

サンフランシスコ国際映画祭とニューヨーク映画祭に次ぐ北米第三の映画祭、第50回ヒューストン国際映画祭のグランプリ=レミ賞に輝いた中国映画『逆時营救』が6月30日から中国で公開決定。本作は成龍(ジャッキー・チェン)がプロデューサーを担当し、韓国のユン・ホンスン監督がメガホンを取るSFアクションで、シングルマザーの物理学者が過去にタイムスリップし、誘拐犯に連れ去られた息子を救うというストーリーを描いたものです。息子のために命がけで戦う母親役を演じる楊冪(ヤン・ミー)は、難易度の高いアクションシーンに果敢に挑戦したことでジャッキー・チェンから絶賛され、同ヒューストン国際映画祭の最優秀女優賞も獲得しました。

視聴率80%超え?!空前の大ヒット作 『人民的名義(人民の名の下に)』に見る中国

■日本語部コンテンツプランナー 向田和弘



収賄疑惑のある副市長が、腐敗賄賂防止局員ら衆人環視の下で姿を消した影には、官僚の世界に深く根を張る巨悪が息を潜めていた——

主旋律(党の指導方針に沿った題材)TVドラマ『人民的名義(人民の名の下に)』が異例とも言える空前の大ヒットを記録した。「反腐敗大型ドラマ」を枕詞にしたこの重々しくも珍しい「ポリティカル・エンタテインメント作品」は、52話を折り返したばかりの30話の放映を終えた段階で既に50%の視聴率を獲得するモンスター作品に成長、最終話に近づくにつれ、最高で80%(ニールセン式換算)の瞬間視聴率を弾き出している。もちろん、出演者の人気も出演料も急上昇だったのは言うまでもない(私のこの原稿も、兄弟メディアである『人民中国』の公式アカウントから発信したところ、13,000PVを獲得、人気の凄さを思い知らされた)。

この作品では、何人もの腐敗幹部を逮捕するという「痛快」なストーリー展開の他に、日々国内ニュースの紙面に踊る「省委員会」「市委員会」や、様々な政府機関の仕組みや横の繋がりを「演じて見せて」いることが、人気の元になっていると考えられる。現実には、こうした繋がりは中国の一般市民にも掴みきれない存在であり、謎な面が多い。そこを有名俳優らが役柄同士のやりとりを通じて見せてくれるのだから、市民が歓迎しないわけがない。最高人民検察院映像制作センター(最高人民検察院政治部・最高人民検察院腐敗賄賂防止総局)を中心とするいかめしい部署の作品ながら、これまでエンタメ一色だった湖南衛星チャンネルをプラット

ホームに選んだことが産んだ意外なケミストリーとも言えるだろう(実際にはなかなか資金が集まらず、最後まで難産だったらしい)。

しかし、中国の視聴者に歓迎される一方で、中国の人々すらわからないこうした構造は、日本で中国語をいくら勉強しても分かるものではないことも事実だ。だが、この作品のスゴイところは、そうして中国の政策や政治構造をドラマという形で観客に「解説」してくれ、我々外国人が中国の時事ニュースや現代社会を理解する為の大きなヒントを与えてくれるところにある。もちろん、ドラマとしても良質の作品であり、ストーリーの巧妙さは多くの中国の視聴者を引きつけて離さない(私も珍しく毎回張り付いて見ていた)。もし、このドラマに含まれる字面だけでない「意味」が分かれば、日本の視聴者もその面白さに引き込まれることだろう。そう考え、今回は、その意味を理解するためのヒントをまとめてみた。

ストーリーはもちろん面白いが、ここで紹介してしまっただけでは意味がない。よって、ドラマ本編の鑑賞はYoukuなどの映像サイトに譲るとして、ここでは、以下の数点を中心に知識を整理してみたい。

- ① まずは中国語学習の角度から、役職名を整理。
- ② そこから、登場人物の上下関係と中国の政治世界での等級地位を整理。
- ③ さらに、台詞からも彼らの間の力関係を整理。

こうした点を理解することで、中国のニュースや社会への理解度は抜群に高まることになるほか、このドラマが何倍も面白くなること請け合いだ。

1. 人物とポジション

では、人物紹介をしながら、その役職と関係を見ていこう。

1.1 登場人物1

沙瑞金(SHA, Ruijin 張豊毅)



■ 役職 中国共産党
漢東省委員会書記
■ 等級 閣僚級

「書記」は中国ならではの役職であるが、本来は書記官という役職があるように、「秘書」を意味する単語だ。しかし、中国共産党ではなぜ書記が偉いのか、そんなことは授業では教えてくれないし、第一実感がわからない。

「書記」は、本来記録係であり、秘書もそれに準ずる部分がある。しかし、社会主義政党的な仕組みの中では、日常業務を統括する責任者としての役目をもつ。その為、中国共産党では総書記や第一書記、国によっては書記長というタイトルが最高指導者を意味する肩書きとなる。その下には、第二書記、第三書記、常務書記、書記、候補書記、副書記と続く。では、なぜ書記なのか、というと、これは1921年に中国共産党が立ち上げられた際、当時のソ連の共産党組織の「書記」を翻訳したことに始まる。これは、地位の最も低い「書記」というタイトルを用いることで、人々の為の仕事をし、官僚主義に陥らないという決意を示したものだ(※参考までに、日本共産党では委員長を使用している)。

なお、中国では、中国共産党中央委員会と共産主義青年団、中華全国総工会(労働組合)、全国婦女聯合会などの全国組織の全国委員会には必ず書記処が存在する。中国共産党と中国共産主義青年団の地方委員会には書記と副書記のポジションがある。

ドラマの中での「漢東省委」の呼称は、総称を「中国共産党漢東省委員会」といい、意味としては「漢東省クラスの共産党委員会」ということになる。

では、漢東省委書記の意味はどうか。これは、漢東省共産党委員会の責任者ということになる。これが分かれば、中国共産

党中央委員会総書記の意味合いも自ずと分かることだろう。中国語では、中共中央总书记のように略して使われることも多い。

日本で言えば、都道府県知事のランクの上に、議会が載っているような形になり、書記は議長に当たるのだが、中国の書記は議会の議長よりも大きな権限を持っており、どちらかと言えば企業の代表権を持った会長と社長の関係に近いと言える。

なお、この「書記」、英語ではsecretaryとなるので、中国の総書記は the General Secretary of the Central Committee of the Communist Party of Chinaとなる。しかし一方で、国連事務総長もまた联合国秘书长と訳され、英語ではthe Secretary General of the United Nationsとなる。そして厄介なことに、米国にはもっと多くの書記がいる。日本では大臣に当たるこれらの役職も、英語では書記なのである。これは米国が一人内閣(独任制)であり、全ての省庁が大統領の補助機関に当たるため、謂わば大統領を補佐する「秘書」たちがその省の責任を負っているからだ。

- △ 国務長官 the Secretary of State
- △ 財政長官 the Secretary of Treasury
- △ 教育長官 the Secretary of Education
- △ 国防長官 the Secretary of Defense

ストーリー上、この沙書記は、中央から派遣されてきたばかりの「腐敗」対策の欽差大臣的役割をはたしており、全ての悪者退治の屋台骨となる存在だ。彼がこのドラマの勤善懲悪ストーリーの幹となり、様々な悪が暴かれていく。

この役を演じる張豊毅は、これまでも様々な映画やドラマに出演しており、中国では国民的俳優として人気を誇る。日本でも、『レッドクリフ』や『始皇帝暗殺』、『さらば我が愛』などでの活躍を記憶している人も多いのではないだろうか。

1.2 登場人物2

高育良(GAO, Yuliang 張志堅)



■ 役職 中国共産党
漢東省委員会副書記
兼政法委員会書記
■ 等級 次官級

見ての通りだが、書記に次ぐ位置であり、さらに政法委員会ではトップだ。

おそらく、ここで分からなくなるのは「政法」という概念ではないだろうか。中国では、政治論理と法論理の枠組みの下に、社会管理と司法業務に関わる領域を政法委員会が指導している。これは、この委員会の指導者層の構成を見ると理解できる。

現在の中央政法委員会の指導者層は以下の通り。

役職氏名	その他役職
書記 孟建柱	中共中央政治局委員(前公安部長)
副書記 郭声琨	國務委員、中華人民共和國公安部部長、警視總監
秘書長 汪永清	國務院副秘書長、機關黨組織メンバー
副秘書長 陳訓秋	中央社会管理綜合ガバナンス委員会弁公室主任
副秘書長 王其江	中央政法委員会専任副秘書長
副秘書長 姜偉	中央司法体制改革領導班弁公室責任者
委員 周強	最高人民法院院長、首席高級裁判官
委員 曹建明	最高人民檢察院檢察總長、首席高級檢察官
委員 耿惠昌	中華人民共和國国家安全部部長
委員 吳愛英	中華人民共和國司法部部長
委員 杜金才	中央軍事委員会規律檢查委員会書記
委員 王建平	中国人民武装警察部隊司令官

(2017年5月現在)

役職の一部は、日本語でイメージしやすく変えているので、少々名称に違いが生じている場合もある。ここから分かるように、政法部門には、警察・公安・治安・司法・武装警察・軍事委員会の規律委員など、法執行に関わる全ての部門が統括されている。

つまり、高書記は、漢東省の省クラスの政法分野担当の副書記であることがわかる。そこから、今回のドラマにおける役回りのキーパーソンであることが見て取れる他、法執行権力の集中が今回のドラマのテーマであることが見て取れるのである。

もちろん、原作通りに話が進むようであれば、このドラマの最後には、この高書記があらゆる意味でのキーパーソンとなることが暴露されるという大どんでん返しが待っている(言うまでもなく、具体的にはドラマをご覧頂きたい)。

この張志堅氏に関しては、芸歴は長いものの、日本で知られる役柄は少なく、中国でも出演作はそれほど知られていない。だが、この作品で見せる重厚な演技

は、その実力を知るには十分にすぎるものがある。

1.3 登場人物3

李達康(LI, Dakang 吳剛)



■ 役職 中国共産党漢東省
委員会常務委員兼京州市
委員会書記
■ 等級 次官級

李書記は漢東省の共産党委員会の常務委員であり、その下部にある行政単位である京州市の書記を勤めている。一般に市の書記は上部組織である省の委員を勤めていることが多く、マクロな視点が求められる役職となる。日本で言えば、県議会の副議長と知事が同一人物であるような構造で、会社であれば親会社の常務取締役兼子会社の代表取締役会長のような位置付けとなる。

市委員会の書記は、党が行政を指導するという原則上、市長よりも上のクラスになり、市長を指導する立場にある(省であれば省長の上に書記がいる)。企業で言えば、取締役会が党組織であり、市長はCEOか執行役員という立場になり、経営方針を実行に移す立場にある。もちろん、権力は絶大。しかし、李書記は極端に清廉潔白な剛腕キャラで、自分の妻でさえ検挙を許している。その正義の塊のような言動に、主役よりも人気が集まっている気配さえある。日本のドラマでいうならば、年恰好は違うものの、半沢直樹のような直進型正義キャラだ。ストレートに悪に対抗する半沢も中国で大人気だったことを考えると、日本も中国も同様に社会のストレスは相当なものとも見ることもできるだろう。

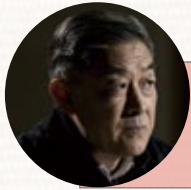
また、そうした多くのファンは、インスタントメッセージアプリWeChatで、彼の表情をいじり倒した表情集を作って楽しむでもいる。何が流行るかわからないものだが、「書記」がこれほどに人気になったこともないので、非常に面白い現象だと考えられる。一部では、達康(ダーカン)書記を.com(ダッカム)書記と茶化して呼ぶ者もいるほどに、親しみを持たれている。

また、吳剛氏と言えば、数年前の大ヒットドラマ『潜伏』にもメインキャラ陸橋山として登場しており、非常にヒットに恵まれ

た俳優であると言えるだろう。なお、劇中で逮捕される妻役を演じているのは、実際の生活でも妻君だそう。

1.4 登場人物4

季昌明(JI,Changming 李建義)



■ 役職 漢東省人民檢察院
院檢察長
■ 等級 次官級

季檢察長は高書記、李書記と同様に次官級の官僚であり、市の幹部会では一定の発言権を持っており、陸毅同様に正義感を持った人物として描かれている。

陸毅と同じく上海戲劇学院の卒業で、芸歴も長く、声優までやってのける実力派。まさに燻し銀の演技で、落ち着きある、また時に陸毅の勢いにしてやられてしまう検事長を演じている。

1.5 登場人物5

祁同偉(QI,Tongwei 許亚军)



■ 役職 漢東省公安庁長官
■ 等級 局長級

公安庁長官祁同偉の役職は一ランク下の局長級になる。陸毅演じる侯亮平と同じく高書記の学生として描かれており、中でも一番出世欲の強い存在として描かれている。省公安部門の責任者であり、漢東大学政法学部の同窓会長のような役目をするものの、同窓会派閥を作るなど、ダークな役回りだ。それもどんどんダークさが濃くなっていくという、味わい深い役柄でもある。しかし、今回の悪役は彼にしる彼の部下の程度にしる全て公安幹部。もちろん、「良い警察」の鏡のような役回りで登場し、いいところを攫っていく京州市公安局の趙東来局長という役柄もあるのだが、祁長官のネガティブさが際立つこのドラマ、公安部とていい気はしなかったのではないかと察するが、さすがに審査を通過しているので、痛し痒しというところなのだろうか。

現実の生活では、なんと四婚というツワ

モノ。ドラマの役柄と重なる部分があるとも言おうか・・・

1.6 登場人物6

侯亮平(HOU,Liangping 陸毅)



■ 役職 漢東省人民檢察院腐敗賄賂防止局長
兼最高人民檢察院腐敗賄賂防止局捜査課長
■ 等級 審議官級

「腐敗賄賂防止局」は中国ならではの特殊な部局と言える。香港特別行政区には汚職捜査を専門とするICAC(廉政公署)が独立した機関として昔から存在するが、中国政府のこの部局は檢察院の一部局として設置されており、公務員の職務犯罪や贈収賄について捜査する部門だ。

侯亮平はこのドラマの中で二重の身分を演じている。一つは北京にある最高人民檢察院で腐敗賄賂防止局捜査課長を務めるほか、次に紹介する陳海が交通事故を起こされ、昏睡状態に陥る中、北京から漢東に乗り込み、大ナタを振るう新任の腐敗賄賂防止局長役を務める。実は主役なのだが、ドラマの進行上、達康書記にお株を奪われてしまっている残念な主役になっている。これは作者の周梅森先生も想像すらしなかった結果だ。

役を演じる陸毅は、デビュー時から役に恵まれ、様々なドラマで主役を演じてきた。このドラマでも正義感に燃える主人公を演じている。

1.7 登場人物7

陳海(CHEN,Hai 黄俊鵬)



■ 役職 漢東省人民檢察院
腐敗賄賂防止局局長
■ 等級 審議官級

侯亮平の大学時代の同級生、そしてパートナーという役柄。この局長が交通事故に遭うところから、物語は深みに向けて展開していく。

解放軍芸術学院を卒業して以来、なぜ

か兵士役が多かったが、今回の役柄は今後のステップになることだろう。

2. 上下関係の基礎

さて、こうしたイケメン官僚らの上下関係はどうなっているのだろうか。役柄紹介でクラスを示しておいたが、ここで中国の官僚システムを少し紹介しておこう。

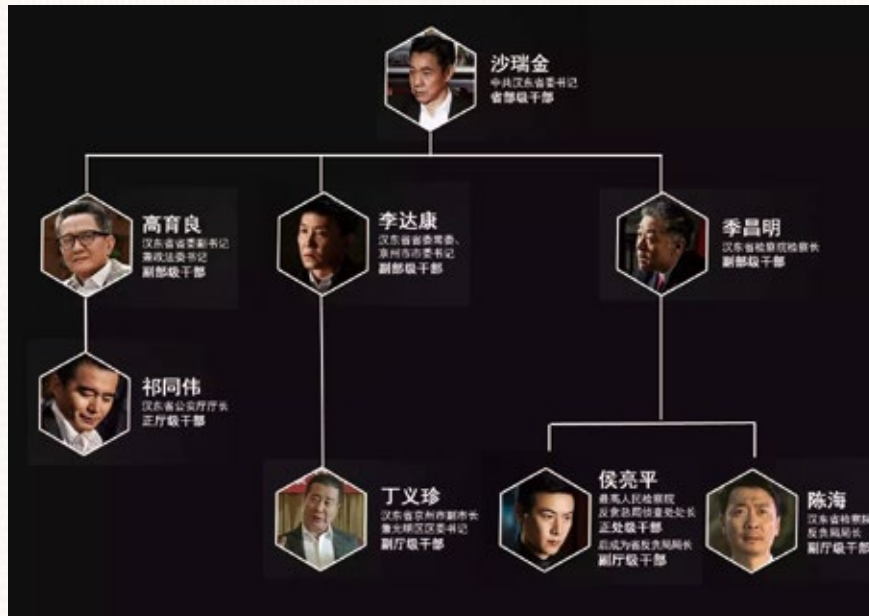
中国の公務員法の規定では、中国の官僚等級は国家級・省閣僚級・庁局級・県処級・郷科級に分かれ、そこからさらに正と副の合計10級に分かれる。一般には、副省閣僚級以上の官僚は高級幹部と見なされる。そして、そこに展開されるヒエラルキー間の関係の複雑さは、国が大きいだけに日本の比ではない。官職等級は以下の表を参照されたい。

※ただ、ここで注意が必要なのは、見目が同様に「市委員会書記」であっても、その市のクラスや規模によって、同じ「市」でもポジションは全く違うという点だ。それが省クラスなのか、地方クラスなのか、県クラスなのかを見極める必要がある。直轄市のように省クラスなのか、杭州市のように省の管轄下にある地方クラスなのかで全く地位は違う。

中国国家幹部等級表

国家正職	中国共産党中央委員会総書記 中央軍事委員会主席、全国政治協商會議主席 その他の中央政治局常務委員
国家副職	中央政治局委員、中央政法委員会書記、 国家副主席、 副総理、最高人民法院院長、 最高人民檢察院院長
閣僚正職	省委員会書記、自治区党委員会書記、 直轄市委員会書記
閣僚副職(次官)	総局局長、委員会主任、国有銀行頭取など 省委員会副書記、自治区党委員会副書記 直轄市党委員会副書記、 省人民代表大會常務委員
局長正職	地級市(省級政府下の市と各自治州) 市委員会書記
局長副職(審議官)	地級市市委員会副書記、 地級市市委員会常務委員

さて、ここまでお読み頂いたみなさんなら、登場人物の上下関係がすっかりわかってしまい、ドラマの奥行きも格段と深まったことだろう。とりあえず整理してみると、次のような関係になる。



☆ 『人民的名义』リンク

http://v.youku.com/v_show/id_XM-jY3MTQ2MDE00A==.html?spm=a2h0j.8191423.item_XMjY3MTQ2MDE00A==.A

■ 向田和弘(むかいだ・かずひろ)
 通訳翻訳・音楽・映画・TV・雑誌・書籍・ゲーム・医療などの業界を経てCRIに入局。独自に(勝手に)日中間を駆け回り、「観察眼」コーナーを執筆、観察者として自らの目で観た中国の日常を伝える試みを続けるとともに、ネット番組「CRI大冒険(仮)」の制作準備中。国内向け中国語チャンネルにもレギュラー出演中。
 趣味は病院巡り。
 兵庫県出身。医学博士。現在Bond University(豪)Bond-BBT Global Leadership MBAコースに在学中。

3. セリフに見る人間関係の機微

次はセリフだが、このドラマでは例えば「書記を逮捕するには中央の許可が必要だ」「高書記からなんとか言ってもらってくれ」など、実際の司法の場面では腐敗賄賂防止局でも単独で判断できない場面(捜査対象が自らのクラスより上で管轄できない地位である場合)や、事件が起こった際に交わされるであろう「してはいけない口利き」的やりとりが散りばめられている。

そこからわかるのは、新華社や中央規律委員会のサイトに公表され、さらに時として日本のメディアでも報道される「腐敗分子」の検挙には、どのようなクラスが判断しているかというルールがあるということであり、これまで無事だった腐敗分子がどういう背景で無事だったかという点だ。こうした知識を持っていると、我々が日々読んでいるニュースは立体感を帯び、そうした検挙の意味と党の判断や決意が滲み出してくる。そして、この数年続けられてきた中央の腐敗取り締まりの浸透が如何に難しいものであるかが我々の脳裏に浮かんでくるのである。劇中の侯亮平局長がこの先結末までに出会うであろう困難は、日本の検察も出会ったことのないような規模のものであり、そこに我々は中国という国の難しさや現指導層の苦悩を知ることになるだろう。

この上下関係以外にも、大学時代の関係や先代の書記(国家副職に昇格しているという設定)が残した問題など、このドラマには入り組んだ人間関係が織り込まれ、かなり先に進むまでそのヒントが現れない構造になっており、それが何重にもオブラートに包まれた形になっていて、最後まで目が離せない。また、これらの人物にはほぼ全てに原型となる人物がいるので、それが誰なのかを想像する楽しみもある。まさに、1本で何度も美味しいドラマに仕上がっている。

出版社からの情報では、日本の出版社との間ですでに日本語版ライセンスの契約が交わされているそうなので、日本語版が日本の市場にお目見えする日もそう遠くはないと思うが、本稿を読まれたみなさんには是非ドラマ視聴に挑戦して頂きたいと思う。このドラマを見終わった頃には、中国社会への理解がこれ迄の何倍にも深まっていることはもちろん、何よりも、中国の一般市民の心の中にある中国社会の「あってほしい姿」が目の前に浮かび上がってくるだろうからだ。そしてもちろん、この立体感はドラマでしか味わえないからだ(ただ、ドラマについては大人の事情で日本公開は当分なさそうなので、中国のサイトなどで中国語版に挑戦していただくほかない)。

ハンセン病で結ばれた絆で アジアを楽しく魅力的にする

～原田燎太郎さんとJIAの取り組み～

ハンセン病快復村での支援活動を紹介する交流会「小牧じいちゃんと太郎のキャンプ辞典」が春先の北京で開かれた。小規模だが、心打たれる交流会だった。

会場である蓬蒿劇場のアートディレクター、王翔さんという。「禍(わざわい)に遭い、権利を奪われた人ほど、強く、美しく生きています。彼らの強さと美しさをより多くの人に知らせたい。このような交流会こそ最高のアートなのです」

メインゲストは2人の日本人、86歳の小牧義美さんと39歳の原田燎太郎さんだ。2人をつなぎ、遠く北京の交流会のステージに導いたのは、小牧さんの人生を変えた「ハンセン病」だった。

「ハンセン病元患者は社会の負担などではなく、つながりを作ってくれる財産なのです」と原田さんは強く訴える。



壇上で歌う小牧さん

「われは湖(うみ)の子 さすらいの 旅にしあれば しみじみと…」

歌が大好きな小牧さんは声高らかに歌う。子供の頃に父親がよく歌った、琵琶湖の近くで過ごした少年時代が蘇る曲だという。

「僕らと遊ぼう、友達になろう」、叫びにも似た小牧さんの言葉に、来場者の心が揺さぶられる。「入場料を払うことで活動の支援になればと思いやって来たが、癒されたのは自分自身の方だった」と涙する来場者もいた。

★ ★ ★

小牧義美さんは1930年、兵庫県の生まれ。宮大工修行中の17歳の年に、ハンセン病を患う。以来鹿児島県鹿屋市にある国立ハンセン病施設・星塚敬愛園で暮らす。

2003年、日本財団による中国のハンセン病快復者との交流活動で初めて中国を訪れ、それをきっかけに社会復帰を宣言した小牧さんは、2005年、桂林付近のハンセン病快復村・ピンシャン村に40日間滞在。ハンセン病に伴う傷への対処法を村民や、支援活動に参加する学生たちに伝えた。

原田燎太郎さんは早稲田大学在学中の2002年に、ボランティアグループフレンズ国際ワークキャンプ(FIWC)関西委員会が中国のハンセン病村で開催したワークキャンプに初参加。「子供時代にいじめられた経験から、偏見と差別について考えたことがきっかけ」と話す。



初めてハンセン病快復者と会った時のことを語る原田さん
(左)、その隣が企画者の王夢凡さん

「初めは、出されたお茶を飲んで大丈夫だろうか」というためらいもあったが、「一緒に生活して、変形した指も曲がった体も、その人を構成する一つの要素に過ぎないのだとわかるようになりました」と原田さん。

2003年に大学を卒業後、原田さんは就職をせず、中国に戻って支援活動を続けると決意。翌年、中国の仲間と共に、各地のワークキャンプ情報を集約する民間非営利団体、ワークキャンプコーディネイトセンター「家(JIA)」を広州で設立する。その後、活動で知り合った中国人女性と結婚し、今は二児の父。苦手だった中国語も今は流暢に話せる。その語り口から、ライフワークとしてこの活動に取り組んでいこうという強い意志が伺えた。

★ ★ ★

原田さんは今後、快復村周辺地域の発展にも取り組み、周辺の村落に範囲を拡大し、コミュニティーづくりの視点から活動を続けるという。さらに、「ハンセン病快復村記録プロジェクト」を実現すべく、クラウドファンディングによる資金調達に努めている。そこには、「ワークキャンプで生まれたキャンパーと村民の親密な関係を活かし、ハンセン病のこと、快復村のこと、そこで生きた人達のことを、次の世代に語り継ぎたい」という思いがある。

中日交流カフェ

中日交流に関わる人々や出来事を取り上げる「中日交流カフェ」の『かけはし』出張版。2017年5月をもってCRIを退職した高橋恵子アナウンサー（現・工学院大学孔子学院学院長）からのメッセージを、今回から毎号お届けしていきます。

工学院大学孔子学院より～その1「孔子学院」

■高橋恵子

中国と日本を結ぶ「かけはし」として、今までは中国から中国のことをみなさんにお伝えして来ましたが、これからは橋の袂が日本になりました。このコーナーでは、私が学院長を務める工学院大学孔子学院の活動や日本で感じた中国のことなどを紹介していきたいと思います。1回目の今回は「孔子学院」について。

孔子学院は中国政府が中国語や中国文化の理解、普及を目指して相手国の大学をパートナーに設立された非営利の教育機関です。大雑把に言うと中国に特化したカルチャーセンターと思ってもらってもいいかもしれません。ここで学ぶのに試験や年齢など制限はありません。誰でも学ぶことができます。既に140以上の国と地域で約1600校が設立されています。相手国のパートナーが大学なら孔子学院、高校なら孔子課堂、それ以外なら学堂となります。CRIは長野県日中友好協会がパートナーなので「孔子学堂」です。私のいる孔子学院は日本側が工学院大学、中国側が北京航空航天大学で設立されています。日本には14の孔子学院がありますが、理系大学はここだけで、世界的にも希少です。語学、文化は文系というイメージが強いのですが、理系×中国語の化学反応でどんなものができるのか今からワクワクしています。語学や文化教養講座の他、様々なイベント、交流を実施しています。

新宿駅西口から徒歩5分もかかりませんので、近くまで来たらお気軽にお立ち寄りくださいね。



孔子学院本部のロビー（右から4番目が筆者）

この春、中国人の活動参加者4人が、原田さんと共に東京のハンセン病療養所を訪れた。うち3名は、日本の施設を初めて訪問した。

これまでインフラ整備に力点を置いていたワークキャンプの対象は中国や東南アジアだけだった。しかし、高齢化が進む日本の療養所で「誰かが自分を訪ねてくれるかもしれない」と期待する入居者たちの、その希望こそが一番のニーズであるとして、中国人による日本でのワークキャンプが提案されたのである。

「こうして、人と人のつながりを作って、もっと楽しい魅力的なアジアを作ることが僕のやりたいこと」

そう語る原田さんの顔には少しのためらいもない。

◆ ハンセン病

皮膚と末梢神経を主な病変とする抗酸菌感染症。以前は隔離された場所に患者を移していたが、治療法が確立された現代では完治する病気である。

◆ 快復者と快復村

JIAでは、回復者と隔離村を「快復者」「快復村」と呼ぶ。その根底には、差別の中でも尊厳を失わなかった元患者の呼称は、単に病気が治ったことを意味する「快復」でよいという考えがある。



■王小燕

（おう・しょうえん）

CRI日本語首席通訳。ハイウェイ北京・火曜日、CRIインタビューなどを担当。



「かけはし」や番組へのご意見・ご感想をEメール、お便り、SNSなどでお寄せ下さい！
E-Mail: riyubusns@126.com
郵便(日本): 〒152-8691
目黒郵便局 私書箱78号 宛
郵便(中国): 100040
中国国際放送局日本語部 宛

番組の感想



- 番組名: ライフ・マガジン
- 大阪府摂津市 小原幹雄さん

中国の今の様子、中国と日本の考え方の違いが判る番組でした。また、北京の発展の仕方はすごいものがありますが、そのまま行けば日本の東京に似て、北京一極集中となり、地方との格差が広がるのではないかと気になります。



- 番組名: 中日交流カフェ
- 埼玉県川口市 小笠原広行さん

いつも楽しい番組ですね!!王洋さんの「春節後に10kg太る」というコメントに「そんなに食べて、その後どうするの!?!」とツッコミたくなり、とても印象に残りました(笑)



- 番組名: 中国メロディー
- 兵庫県明石市 矢倉徹也さん

旧暦の3月3日には男女の風習があったのですね。日本ではひな人形を飾るひな祭りのイメージしかありませんでしたが、番組を拝聴し昔の男女の交際が難しかったことを含め、貴重な風習を理解出来ました。



- 番組名: 二十四節気時代
- 三重県名張市 竹内達生さん

二十四節気の話、興味深く聴きました。日本では明治時代の社会システムの西洋化に伴い太陽暦が主となりましたが、太陰暦の考え方を基にした二十四節気が中国では今も重んじられているのですね。昔ながらの自然との接し方や考え方を大切にしたいものだと思います。



- 番組名: 国交正常化45年の歩み —あの日その時—
- 東京都 小野崇夫さん

早いもので、国交正常化45周年ですね。子どもの頃のことを思い出しました。良いことばかりではなく、長い年月には、震災など辛いこともありましたが、辛い時こそ協力が必要であると、改めて思いました。当時を思い出せる番組をありがとうございます。



- 番組名: 国交正常化45年の歩み —あの日その時—
- 三重県津市 川添充則さん

中国の数あるスイカの品種のうち、最もポピュラーな品種である「京欣一号」の育成に日本人の森田欣一さんが携わり、森田さんがスイカ栽培の技術を惜しみもなく伝えたことを知り、尊敬の念を抱きました。日本人の一人として誇りに思います。

編者後記

孟夏の候、皆様はいかがお過ごしでしょうか。北京の夏といえば、北海公園の湖のほとりで蓮の花を觀賞しながら涼むのもいいですし、最近では陽が沈んでから、友達とジャズを聴きに街に繰り出すという若者も多いようです。美しい景色もメロディーも、夏日に一服の涼をもたらしてくれることでしょう。

今号は、中日国交正常化45周年に関わる話題をはじめ、北京で日本人が演奏したジャズのステージや、空前の人気を呼んだドラマ「人民の名義」など、バラエティに富んだ内容でお届けしました。夏の北京を感じ取っていただければ幸いです。

見開きの特集では、北京で暮らす日本人たちの様々な表情に注目する映像番組「北京の表情」を紹介しています。本誌『かけはし』をきっかけに、ぜひCRIのWebサイトや各種SNSにもアクセスしてみてください。皆さんに見ていただき、聴いていただくことが、私たちの何よりの励みになっています。(趙雲莎)

東方新報

徹底して“オリジナル”を追求します。

《東方新報》は1995年に創刊。日本全国に発行され日本で最も影響力のある華文メディア社です。また当社新聞は、中国南方航空の日-中便すべての機内紙として搭載している日本で唯一の会社です。オリジナルティある報道を堅持し、最大の真実、オーソリティを追求し続ける、最も新鮮な日本および華人社会のニュースを提供しております。

《東方新報》WeChat



《東方新報》WEB



上のQRコードをスキャンしてください。



定期購読：半年 6,000円
定期購読：一年 9,800円
定期購読：二年 19,600円

お申込みはこちら ☎ 03-3981-2701 (平日 AM9:00~PM6:00)

■発行 日本華伝媒株式会社
■編集部 03-3981-2705
■投稿メール tougao_xinbao@163.com
■WEB <http://www.livejapan.cn>

■広告総代理 株式会社 東方インターナショナル
■電話 03-3981-2701 FAX 03-3981-2706
■住所 〒170-0013 東京都豊島区東池袋2-23-2-6F
■振込口座 りそな銀行池袋支店(普) 5116180 名義:トウホウシンポウ

予独愛蓮之出淤泥而不染。

我はただ、泥より出づるも濁りに染まらぬ蓮を愛す。

周敦頤(1017-1073)『愛蓮説』より

■SNSで観るCRI(各SNSプラットフォーム)



@CRI日语频道



@CRIJpn



CRI日语频道



CRI日本語



CRI日语部



YouTubeアカウント
CRI日本語



CRIの人気番組をPodcastでも配信中!

iTunesや対応アプリから「CRI」で検索。

配信番組: CRIニュース、ハイウェイ北京、中国語講座 ほか